



福島幼稚園の取り組み

たのしい秋、みつけた！  
ぼくらの遊びは収穫いっぱい！

福島幼稚園  
園長 中島好美  
園児 31人

福島幼稚園、秋のお楽しみ！  
(年少・ひよこ組の様子)

秋になると、園庭に生えているジユズダマのまわりには子どもたちが集まります。年中組のお兄さんに「こっちにいっぱいあるよ！」と教えてもらおうと、早速ひよこ組のジユズダマ集めが始まりました。最初は集めることに夢中になり、まだ青い実も採っていました。お姉さんたちの「青いのはまだ子どもだよ。」の言葉に、茶色くなった実を上手に集められるようになりました。



「茶色いジユズダマ…茶色いジユズダマ…」

カップがジユズダマで一杯になると、あれこれ知恵を絞らだし、おいしいごちそうや素敵な楽器に姿を変えました。ジユズダマレストランを開店し「いらっしゃいませ。」



→開店準備に大忙し！

せ。何にしますか？「どうぞ食べてください。」とやり取りを楽しんだり、ジユズダマのマラカスを鳴らしながら、ご機嫌で歌を歌ったりして秋を楽しみました。来年の秋は、新しいひよこ組さんに優しく教えてくれるかもしれません。



ようこそジユズダマレストランへ！

リンゴがいっぱい！  
(年中・かなりあ組の様子)

総合公園テニスコート駐車場から出発したリンゴ狩り。役員さんとお母さん、お父さんも一緒に坂道を登っていくと、木になっているたくさんリンゴを見つけ歓声が上がりました。



めだか広場のお友だちも一緒に♪

田村果樹園の人から、リンゴのお尻を上に向けてと上手に採れると聞き、早速自分たちでおいしそ



見て！おいしそうなリンゴ！

うなリンゴを見つけた子どもたち。教えてもらったように採れると、うれしそうなお顔で友だちや先生に知らせ、満足そうな様子でした。全員が採り終わるとゴザの上でリンゴを丸かじり。一個は食べられないかと思いましたが、気が付くとほとんど食べてしまいました。帰りは小幡幼稚園まで歩き、給食と一緒に食べたり、遊んだりして楽しい交流ができました。

楽しい「ことばの教室」

この春、令和のスタートとともに、



福島小学校に「ことばの教室」が新設されました。ことばについての特別なニーズをもつ町内の小学生が、週に一回程度、通級しています。担当との個別指導が中心で、明瞭な発音や豊かなことばの習得、円滑なコミュニケーションを図るためのルールや表現の工夫など、それぞれの特性と向き合いながら、子どもたちが自分らしくのびのびと生活できるように支えています。

教育相談室

◆問合せ・相談申込  
学校教育係 ☎(74)3131  
福島小言語指導教室  
☎090(2238)8704

とって、話すことが楽しいものになっているか」ということです。そのため、こちらが目の前の子どものことばを敏感に察知して、適切な反応を返すようにしています。ゆったりとしなやかに、子どもをまるごと受け止めて、共感的な気持ちで十分に話をきくことは、子どもの心に安心感と信頼感を抱かせます。相手に自分のことを話そうとする気持ちを膨らませます。やさしくあたたかいまなざしを注ぐことで、揺るぎない心の架け橋が築かれ、ことばを育むことにつながるのです。

「ことばの教室」で一番大切にしていることは、「子どもに

甘楽町が潤いあることばであふれ、明るい未来につながる心の架け橋がこちらに築かれるように、「ことばの教室」でできるお手伝いをしたいと考えています。

ワクワクするね！絵本の世界  
(年長・つばめ組の様子)

「エルマーのぼうけん」の読み聞かせから、すっかりエルマーに夢中になったつばめ組。想像の世界が広がり、なんと自分たちも冒険に必要な地図やリュック、道具などを作って、福島幼稚園の冒険に出発しました！



冒険には何が必要かな？



さあ、冒険に出発だ！



みんなでりゅうを助けるぞ！

幸運なことに、園庭にはミカンの木があるので、絵本に出てくる「みかん島」に見立て、冒険する中での腹の足しが手に入りました。「りゅうを助けよう！」とダンボールでりゅうを作り、救出を目指してさまざまな遊具を登ったり渡ったり回ったりと、元気いっぱい駆け回ります。絵本のお話が、こんなに楽しい遊びを生み出すなんて素敵ですね！「明日はどこ行く？ワクワクするね！」と相談し合う冒険者たち。つばめ組の冒険はまだ続きます。



甘くておいしいミカンです♪